

# 九州観光推進機構 活動レポート

感動がある。物語がある。九州



— 2011年6月号 —

## ◆ 5月のトピックス

### ○ 「第35回フラワーフェスティバル」で観光PR（5月3日～5月5日：広島市）

中国新聞社主催の「第35回フラワーフェスティバル」の九州ブースにおいて、九州観光ポスターを掲示するとともに、「なないろ九州バス」のパンフレット等を配布し観光PRを行いました。また、九州ブース来場者アンケートのプレゼント賞品として、「なないろ九州バス」旅行招待を用意しました。

アンケートの回収では、九州新幹線鹿児島ルート全線開業による誘客効果を見込み2010年度から中国地域における観光PRを強化したことなどから、例年500人程度を大幅に上回る800人から回答が得られ、広島地区における九州への関心の高まりを裏付ける結果となりました。

### ○ 台湾・メディア取材旅行を支援（5月10日～14日：福岡、長崎、熊本） ※震災による風評被害対応

東日本大震災による訪日観光客の大幅減少対策として、在台湾のランド社がエバー航空の協賛のもと、九州内宿泊施設等とのタイアップにより、台湾のメディア（TV局6社、新聞1社等）関係者一行17名による北部九州（福岡、長崎、熊本）の取材旅行を行いました。ソフトバンクホークスの王会長をはじめ、JR九州社長、福岡・佐世保両市長、福岡・熊本両県の観光担当課長等へのインタビューにより、九州が安心して旅行できる地域であることを効果的に発信することができました。また、当機構は九州内移動等費用面の支援を行いました。



### ○ 「第2回九州マスコミ会議」で会長講演（5月11日：福岡市）

「観光でつなぐ九州とアジア」をテーマに、九州と中国、韓国、台湾のマスコミや観光関係者が意見交換を行うため、「第2回九州マスコミ会議」（主催：九州情報リエゾン、後援：九州観光推進機構）が開催されました。今回の会議は、石原会長による基調講演、パネルディスカッションを行い、マスコミ39社を含む約150人の参加で会場が満席となるなど、関心の高さが窺われました。

基調講演では、東日本大震災の影響で外国人観光客が激減していることを踏まえ、「海外からのマスコミ招請や、アジア各国への訪問により、九州は安全であるとの情報発信に力を入れている」ことが報告されました。一方、外国人記者からは、会議に先立ち実施された鹿児島県、熊本県のモニターツアーに参加した感想として、「帰国後は、震災の被害を受けていない九州の実情についてアジアの人々に積極的に報道したい」との考えが示されました。

今後も、あらゆる機会を通じて「九州は安心・安全である」ことを発信していきます。



### ○ 韓国・済州オルレが九州視察（5月11日～14日：熊本、大分、福岡） ※震災による風評被害対応

韓国で注目を集めている済州オルレ（ウォーキング）の九州版の構築のため、済州オルレの責任者4名を招請し、北部九州（熊本、大分、福岡）各地の候補地である、阿蘇・黒川・湯布院・耶馬溪・大宰府・百道のウォーキングコース及び観光地の現地視察を3泊4日で実施しました。



今後も、九州各名所でコース視察を続けていただき、魅力ある九州版オルレコースを多数設定していくことにしています。

## ○ 中国「上海世界旅遊資源博覧会(WTF2011)」に出展 (5月12日～15日:上海市)

※震災による風評被害対応

「上海世界旅遊資源博覧会(WTF2011)」に九州ブースを出展し、九州の観光PR等を行いました。今回は日本ゾーンの中で最も広いスペースを確保したこともあり、多数のお客様が来場されました。(博覧会全体で約2万6千人)

業界関係者を対象する開催期間前半は、上海市を中心とした中国の旅行会社やメディア等との情報交換を行うとともに、後半の一般開放日には、来場された多数の市民の方々に九州の観光情報及び通常通り観光を楽しめる現状などをお知らせしました。

また、九州ブースには上海に事務所を構える九州各県・市および会員企業の駐在員の方々や、JTB九州観光ネットワーク推進協議会メンバーに応援に駆けつけていただき、九州一丸となつての取組みを強くアピールしました。

今後も引き続き、関係者の皆様と協力しながら中国での認知度向上及び誘客を図っていきます。



## ○ エバー航空エージェント招請を支援 (5月15日～18日:熊本、佐賀、長崎)

※震災による風評被害対応

社団法人長崎県観光連盟が幹事となり、エバー航空とタイアップのうえ、関係県(佐賀、長崎、熊本)と連携して台湾のメディア(新聞2社、雑誌6社、TV局1社)関係者12名を招請し、北部九州の視察旅行を行いました。博多～熊本間の新幹線を体験した他、熊本城、阿蘇、祐徳稲荷神社、伊万里の窯元、ハウステンボスなど各地の賑わいを実際に自分の目で確かめることで、九州が安心して旅行できる地域であることをメディアに実感してもらいました。また、当機構は九州内移動等国内での費用面の支援を行いました。



## ○ 韓国に訪問団を派遣 (5月17日～19日:釜山広域市、ソウル特別市)

※震災による風評被害対応

東日本大震災による訪日観光客の大幅減少対策として、韓国の政府機関やメディア、旅行会社に九州の現状を周知し、安心して訪問できる地域と認識してもらうため、九州地方知事会(全ての県から知事又は副知事が参加)、九州運輸局と共同で訪問団を派遣しました。ソウル市内で韓国のメディアに対して記者会見を行い、「九州安全・安心PR」を行った後、韓国政府外交通商部、文化体育観光部の表敬訪問をはじめ、旅行会社を訪問し九州の現状を伝えました。

併せて、釜山・ソウル市内で九州各県の観光関係者と韓国の旅行会社関係者と連携し、街頭キャンペーンによる「九州の安全・安心PR」を行ったところ、韓国の方からあたたかい応援メッセージを多数いただきました。記者会見及び街頭キャンペーンの様子は、メディアを通じ韓国全域に報道され、九州一丸となった取組みを強くアピールすることが出来ました。



○ **シンガポール・メディアを招請** (5月17日～22日:福岡、佐賀、長崎、熊本、大分) ※震災による風評被害対応

シンガポールの旅行会社 (Commonwealth Travel Service Corporation Pte Ltd) と連携し、メディア (ラジオ局1社、新聞社1社、雑誌3社) と旅行会社1社 計6名を招請し、九州の現状を取材、九州が安心して旅行できる地域であることを取材してもらいました。各県の観光素材取材のほか、露地栽培の農家、大学教授 (放射線分野の専門家) への取材などを通じて、九州の安全性と豊かな観光素材を効果的に発信することができました。



なお、今回のシンガポール招請は、同市場対策としては東日本大震災後初めてであり、機構は費用面の支援も行いました。

○ **「2011年度定時総会」等を開催** (5月19日、25日:福岡市)

九州観光推進機構の「2011年度定時総会」を、県・企業・団体等の会員等81名のご出席のもとで開催しました。総会には国土交通省九州運輸局長の玉木良知氏に来賓としてご挨拶をいただいた後、機構事務局から以下の議案について説明を行い、原案どおり承認されました。



2011年度定時総会

- <議案>
- ・2010年度事業報告、2010年度収支決算
  - ・2011年度事業計画、2011年度収支予算
  - ・「九州観光推進機構規約」の改正について
  - ・役員を選任について

2011年度の取り組みでは、国内では観光を担う人材育成支援、外国人観光客の受入体制の整備支援をはじめ、2011年3月の九州新幹線鹿児島ルート全線開業を踏まえた近畿、中国地方へのプロモーション活動の展開、大都市圏の中学校・高校の修学旅行誘致活動の強化、海外では東日本大震災による訪日客の激減に伴うアジア各国のメディア招請、九州の安全・安心情報の発信、韓国・中国・台湾の市場特性に応じたプロモーションの展開等を行うことにしています。



2011年度第1回理事会

なお、役員を選任は、任期2011年5月～2013年5月として、石原会長 (九州旅客鉄道株式会社代表取締役会長) の再任をはじめ役員が改めて選出されました。

また、定時総会に先立って開催しました2011年度「第1回評議員会」(5月19日)、「第1回理事会」(5月25日)では、2011年度定時総会の議案等の審議とともに、二次交通の充実促進を目的とする「なないろ九州バス」の2011年度下期運行について意見交換が行われ、運行の詳細については引き続き検討していくことになりました。

○ **タイ・メディアを招請** (5月19日～23日:福岡、鹿児島、熊本、大分) ※震災による風評被害対応

タイ航空と連携してタイのメディア (テレビ局1社、ラジオ局1社) 及び旅行会社6社の計10名を招請し、九州の現状と安心して旅行できる地域であることを取材してもらいました。

特にテレビ局の映像による訴求と、旅行会社による具体的な商品造成のため各県の観光素材のほか、3月12日に全線開業した九州新幹線鹿児島ルートなどを取材してもらい、効果的に発信することができました。

なお、今回のタイ招請は、同市場対策としては東日本大震災後初めてであり、機構は費用面の支援も行いました。



## ○ 平成23年度下期「観光素材説明会・相談会」を開催（5月20日、26日、27日：東京、名古屋、大阪）

平成23年度下期の九州向け旅行商品の造成促進を図るため、旅行会社の商品造成担当者を対象とする「観光素材説明会・相談会」を開催しました。東京の説明会・相談会はJR九州と共催、名古屋・大阪の説明会は機構単独で開催し、旅行会社から参加者は、東京138名、名古屋23名、大阪39名でした。

説明会では、九州各県の最新の観光素材、「なないろ九州バス」の運行等の説明を行うとともに、引き続き実施した相談会では、旅行会社が各県ブースを回って相談に応じ、各ブースで熱心なやり取りが交わされました。



説明会（東京）

## ○ 台湾鉄道工会インセンティブツアーを催行（5月23日～28日：福岡、大分、熊本） ※震災による風評被害対応

東日本大震災の影響により、台湾のほとんどの訪日ツアーがキャンセルされる中、在福岡のランド社が事態の打開を図るため、台湾鉄道工会主催による大型インセンティブツアーを企画し、ツアーには118名が参加しました。当ツアーは、宿泊先の自治体（北九州市、別府市）から観光には全く影響がない旨の文書を取り付け、主催者の台湾鉄道工会に提出するとともに、台湾側の旅行会社には、日本への旅行は日本全体の応援につながることを強く訴えたことで催行が実現したものです。

当機構は、九州運輸局及び福岡県と連携し、福岡空港到着ロビーにおいて横断幕を掲げ出迎えを行うとともに、ツアー参加者全員に九州マップ等を贈呈し歓迎の意を伝えました。



## ○ タイ・テレビ局を招請（5月24日～31日：九州全県） ※震災による風評被害対応

タイを中心とするアジア圏23か国1千万戸世帯に向けて旅行情報を発信する大型有線テレビ会社（Travel Station）の10名を九州運輸局と共同で招請し、九州の安全性、九州の観光素材を発信しました。

特に今回の招請では、九州全県の観光地や食文化の取材を通じて、九州の豊富な観光資源を紹介するとともに、交通機関や宿泊施設、観光施設等が通常どおり運営されていることを発信しました。また、九州運輸局及び当機構での取材を通じて、各々の事業内容や取組みもアピールすることができました。



## ○ 中国・情報誌「南国風」制作を支援（5月25日：中国各地） ※震災による風評被害対応

中国において発行された九州専門情報誌「南国風（なんごくかぜ）」（発行会社：上海征西广告有限公司）に対し、製作費や素材提供等の支援を行いました。同誌は中国における九州情報の発信を目的に創刊されたフリーペーパーであり、上海・北京・広州などの旅行会社や富裕層生活圏に配布されています。

今年5月25日に発行された第1号（5万部／発行、68ページで構成）では、九州の温泉特集のほか、福岡、熊本、鹿児島等の情報が紹介されており、中国の富裕層向けに九州各地の観光情報が広く伝わることを期待されます。2011年度は第4号まで発行予定であり、第2号以降はVJ事業として取材・制作を支援しながら、九州の旬の情報を継続発信することとしています。



## ◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

### ○ 機構ホームページ「九州旅ネット」としてリニューアル

6月9日、当機構のホームページ（日本語国内版）を新たに「九州旅ネット」としてリニューアルしました。各種情報に直接アクセスできるようにショートカットを取り入れるなど、グローバルメニューを全面的に見直し、九州7県別のタブを新設し代表的な観光素材や旬の情報などを閲覧できるようにしました。

また、九州観光の5つのテーマ「食、自然、温泉、人情、歴史・文化」や注目キーワードをトップ画面に配置し、より簡便に検索・閲覧していただけます。

さらに、利用者の皆様への最新情報提供や双方向コミュニケーションの強化のため、ホームページの主要コンテンツ内にこれらソーシャルメディア（Twitter、Facebook、mixi、はてなブックマーク）に対応したシェアボタンを設置し、情報の発信・共有を容易にしました。

今後も、九州7県や会員企業との協力・連携のもと、WEBチャネルを通じた観光情報の発信強化に努めます。 ※機構ホームページ「九州旅ネット」URL：<http://www.welcomekyushu.jp>

### ○ 6月以降の主な予定

- ・中国・深セン市メディア・旅行会社等招請支援（6月1日～3日：九州各地） ※震災による風評被害対応
- ・モータースポーツ関連メディア招請（6月2日～8日：九州各地） ※震災による風評被害対応
- ・韓国「JNTOアウトバウンド商談会」参加（6月3日：ソウル特別市）
- ・韓国・メディア招請（6月6日～10日：九州各地） ※震災による風評被害対応
- ・平成23年度下期「観光素材説明会・相談会」開催（6月9日：福岡）
- ・中国「九州観光プロモーション in 上海・北京」（6月9日～10日：上海市、北京市）
- ・中国「香港国際旅游展（ITE2011）」出展（6月9日～12日：香港）
- ・中国「ビジット・ジャパン合同観光説明会」参加（6月16日：北京市）
- ・中国・広東省メディア招請（6月：九州各地） ※震災による風評被害対応
- ・韓国・大手映画ロケ隊支援（6月） ※震災による風評被害対応
- ・韓国「プサン商談会」開催（7月7日：釜山広域市）
- ・中国・遼寧省メディア招請（7月：九州各地） ※震災による風評被害対応
- ・平成23年度「九州7県合同修学旅行説明会」開催（8月8日、18日、19日：東京、大阪、岡山）

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 松尾、川添

TEL：092-751-2943 E-mail：info@welcomekyushu.jp